

や乃至は幼稚園の庭園などを開放して、子供の自由遊戯場にして居るものが二百二十二個所の多きに達して居る。即ち云はゞ此市が二百二十二個の兒童遊園を新に得たやうなものであるが之等も誠に結構な中である。我國でもたしか二葉幼稚園などは近所の子供の遊び場所に開放して居られると聞いて居る。その外富豪の庭園などで之を開放し

教育と兒童の身體障碍

文學士 上野 陽 一

十二度の近眼といふと、よほどひどい近眼である。市街などは到底眼鏡なしで歩くことは出来ない。机の上の仕事でも、よほど眼を近づけなければならぬから、無理に眼鏡なしでやると、早く疲れるのみでなく、頭が痛み出す、氣が鬱陶しくなるなど、様々の障害をひき起す。然るにこゝに一つ恐ろしい話がある。先達の事、或人の子供が

て、子供や大人の散樂や遊戯を許して居る處もだん／＼あるやうであるが之れ等も誠に嬉しい事と思ふ、ともかく兒童遊園の問題は田舎にはさう必要もなからうが、都會地に於ては至極必要な事であると思ふ。我が國に於ても追々さういふ場所が設けられるやうになりたいものであると望んで居る次第である。(文責在記者)

十二度の近眼であるのを、尋常の四五年になるまで、親も先生も、學校醫も、かゝりつけの醫者も知らずに居て、そのために生ずるさまざまの障害を、やれ精神病であらうとか、低能であらうとかいつて、催眠術をかけたり、何とかいふ見當はづれの藥をのませたりして、散々弄くつた揚句の果、やうやくそれが近眼であることが分つて、眼

鏡をかけさせたらば、すべての症状がけろりと直つて、成績もよくなつたといふ、ウソのやうな本當の話がその親なる人によつて社會に傳へられた。

も一つ私の直接に知つて居る例がある。父は醫學雜誌の記者をして居る人で、醫者ではないが相當に醫學上の知識をもつて居る人で、あつた。然るにこの人もその一人息子が中學の三年生になるまで、近眼であることを知らずに居たのを、フトしたことからそれが分かつて調べて見たら、九度といふ強度の近眼であることが分かつた。

教育上の素養の足りぬ醫者が年に二度づ、御役目だけの身體検査をして居たいけでは、これほど強度の近眼を知らずに過ごすことも、事實ありさうなことではあるが、日々子供に接して居る親なり教師なりがそれに氣づかずに居て、何も知らぬ子供を悲境に沈淪させるといふに至つては、子供の前に手をついて詫まつても、追つかぬ話ではあ

るまいか。

今一つよく耳にする話は、子供が幼稚園や、學校から、よく病氣を貰つて來るといふことである。ヂフテリー・猖紅熱・麻疹・百日咳・水痘・天然痘・結核の如き傳染病が學校や、幼稚園を媒介所として社會に傳播して行くことが少くない。これに對する處置法としては、學校の醫學的觀察の制を設けて早く傳染病を發見して未然にその傳播を防ぐ必要がある。これが謂はゆる學校の醫學的觀察運動と稱するものである。

然るに近眼事件などに屬する事實の處置法になると、純醫學的の仕事ではなくなつて、その仕事が醫學と心理學との兩方に跨つて來る。蓋し身體上の諸種の缺陷は直ちに子供の精神發達上に影響を及して來て、外面に於ては、「身體上の缺陷に基づく心理上の異常」といふ形をとつて現れて來るからである。

二

一般の精神發達に影響を與へて、子供の成績を左右するやうな身體上の缺陷にはいろいろある。

例として舉げた視覺の缺陷もその一つであるが、その外、聽覺の缺陷・鼻呼吸の缺陷・腺病・扁桃腺膨大・心臟病・口腔炎異常・營養不良・畸形・脊椎彎曲・猫脊・神經疲憊・呼吸器病などに對しては、どうしても相當の検査を加へなければ、子供の正常なる發達を助長して行くことは出来ないのである。勿論これ等の缺陷の各々について、十分の説明を加へて行くことは、醫學者の説明をまたなければならぬが、これ等の缺陷が原因となつて、如何に子供の發達を妨げ、子供の幸福安寧を害しつゝあるかは親たり先生たるものが大體心得ておかなければならぬことだと思ふ。子供の精神發達上に、何かの障害が起つたときに、その原因について大體の見當だけをつけて、醫者に相談をもちかけることの出来るだけには、素養がありたいものと思ふ

のである。一體専門の醫者なるものは、案外眼界が狭いために、何でも自分の専門とする病氣の方に引きつけて考へる危険があるから、大體は平生一緒に生活して居る親なり先生なりが見當をつけておいて、それから醫者のところに行くのが本當であると思ふ、でないと、眼鏡さへかけさせればすむ子供に對して、御苦勞にも催眠術をかけたり可愛さうに精神病の藥をのましたりして、罪の無い可憐の子供を、無智と見當違ひとの犠牲にしなければならぬやうなことを仕でかすのである。

三

私は曾てSといふ中學一年生の子供について相談を受けたことがあつた。父なる人が來ていふには、「Sはどうも學科が出來ないで、馬鹿で困る、何とか方法はないものでせうか」私にはたいそれだけではさっぱり見當がつかないから、いろいろ相談の末にその子供を預ることにした。父の方では、私に復習でもして貰へば、だん／＼成績がよ

くなるだらうといふ考へらしかつた。勿論復習もさせて見たが、成績は不相變劣等で、二度ほど落第して、とう／＼中學は途中でやめてしまつた。

そんな風であるから、父は少しもその子供を愛しないで、學校の出來のいゝ少妹の方ばかりを可愛がるといふ風であつた。それだから、Sは益々やけを起して學事を放擲するといふ風になつて行つた。父はたゞ子供が馬鹿で怠け者であると思ひ込んで居たやうであつた。

私はいろ／＼Sについて研究して見たが、或夜眠つて居る様を見ると、口を開いて居て、鼻呼吸をして居ない。そこで翌日その事をSに話すと、自分は幼少の時からかうだといふので、早速醫者にやると、茸鼻といふ診斷で、手術を施した。その當座はよかつたけれども、又切斷した部分が肥大して來て、鼻呼吸が出來なくなつてしまつた。病氣の性質上根治が出來ないから、治療によつて成績をよくすることは出來なかつたが、とにかく

「馬鹿で怠ける」のは鼻が悪いためであるといふことは分かつた。して見ると、これは父なる人のやうに、徒らに「馬鹿々々」といつてその愛までも娘の方にうつすべきものではなく、病氣に對しては同情の態度をとること、恰も不具の子が一層可愛いといふのと、同じ心持でなければならぬと思ふのである。

Sはもう大人になつて居るが、不相變睡眠後は鼻呼吸が出來ないで、口を開けて居る。随つて安眠が出來ない、今になつて、人の話に「前後も知らずに熟睡する」などいふことを聞くが、自分は未だ曾てさういふ熟睡をしたことがない。眠つてから、覺めるまで、ウト／＼と夢ばかり見て居るといふことである。丁度生れつき近眼の子供が世界はかういふ風にボンヤリと見えるものだと思つて、別に不思議とは思はなかつたのと同じく、少の頃から安眠といふことを知らなかつたから、別に異常といふことに氣づかなかつたのである

が、大きくなつて、人の話などを聞いて、思ひ合はせて見ると、成るほど自分は鼻の病氣のために呼吸に故障があり、随つて人のやうに安眠が出来ないのだといふことが分かり、更に進んでは、Sの常習頭痛の原因も分かつて來たのである。

かういふ風な調子であるから、眞面目な仕事を一定時間つゞけてするといふことは、Sの大に苦痛とする所である。苦痛といふよりは寧ろ不能といつた方がよいかも知れぬ。併し外見に於ては少しも病氣らしいところはないのであるから、家人殊に父なる人は、Sが仕事をつゞけてしないのを見て、一概に怠けものだ、ヤクザものだといつて益々疎んずるやうになる。かくの如くしてSの家庭は今に悲惨なる、暗い影がたゞよつて居る。

四

一つ二つの實例を舉げて、そんなのは稀有の例であらうといふ人があるかも知れぬ。そんなら統計の數字を見るがよい。併し日本の學校醫の身

體検査は十二度の近眼を數年間も見のがして居るやうな寛大なるものであるから當てにはならぬ。殊に缺陷検査の項目が、視聽とむし齒と脊柱彎曲とに限られて居る。外のもつと大切な項目を逸して居る。さういふ統計では議論の基礎とすることは出来ぬ。手近かにあるアメリカの統計を借りるより外はない。

ロスアンゼルスLos Angelesの學校兒童五千人について調べた結果、視力に障害あるもの六十一%、腺病者が三十一%、扁桃腺膨大が二十五%、聽力障害が十二%、あつた。一九〇九年にシカゴの兒童十二萬三千五百人について、重大な缺陷だけについて調べて見たら、齒牙の障害三十六%、扁桃腺膨大二十二%、腺肥大十三%、鼻の障害五、五%、腺病が三、五%、聽力の障害が二、三%といふ數字を示して居る。ニューヨーク市の兒童二萬三千につき、各學年に互つて調査した結果によると、六歳の時と十五歳の時とによつて、障害の分配狀態が

左の如く變つて居る。

	六歳の時	十五歳の時
齒牙の障害	六五	三一 %
扁桃腺膨大	四〇	一四 %
腺 肥 大	四〇	七 %
腺 病	二三	三 %
呼吸障害	二三	九 %
視力障害	一七	二六 %

その他このやうな統計を舉げると、數限りもないが、それ等を綜合して考へて見ると、全兒童の七割乃至八割はどこかに物質上の缺陷のあるものであると推測することが出来る。醫學的視察運動

の盛なるアメリカに於てさへ、こんな風であるから、日本の實情はこれよりも更に甚だしいものがあるに相違ない。

私は以上のやうな話の結論として、父兄や保母教師の職にある人は、子供の身體的障害の思ひの外、多いもので、それが精神の發達と密接の關係のあることに氣づいて、子供の訓育や教授を常にそれらの身體的事情と結びつけて考へて行くやうにありたいと思ふのである。それには、子供の身體についても少し醫學的知識に興味を持つ人であることが望ましいと思ふ。

露天主教の我が幼稚園

附人形病院の話

帝國幼稚園長 西山 愷 治

私の幼稚園の内規の中には「主として體育、徳育を獎勵し自然的屋外的保有に努力すべし」とい

を項目が掲げてあつて、保母にはその心掛を以て保育の任に當つて貰つて居る。一口にいへば露天